

退職者 NO.129-
こだま会報



発行日：2020年8月15日／季刊第129号
 編集・発行：神奈川県職労連退職者こだま会
 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 県庁本庁舎地下1階
 発行人：加瀬文隆
 ☎045 (212) 3179 (代) Fax 045 (212) 3178 (代)
 Eメール kodama@kodamakai.sakura.ne.jp
 URL http://tekuteku.jeez.jp

“コロナ”に負けず平和で豊かな高齢期を

退職者こだま会第36回 定期総会(書面表決)の 結果について(報告)

『こだま会報』
 第128号(2020年5月15日発行)で、6月19日に開催の第36回県職労連退職者こだま会の定期総会を
 書面表決で行うことを、会員の皆さまにお願いしました。

『こだま会報』
 第128号(2020年5月15日発行)で、6月19日に開催の第36回県職労連退職者こだま会の定期総会を
 書面表決で行うことを、会員の皆さまにお願いしました。



▶第1回幹事会で書面表決結果を確認(7月14日)

このような方法に至った経過は次の通りです。

新型コロナウイルスの感染が全世界に広がるなか、4月7日に非常事態宣言が出され、会場の「あーすプラザ」が8月31日まで臨時閉館に

を迫られました。総会の延期も考えましたが、開催会場との関係で開催を9月に降に延期した場合、会計年度を5カ月以上経過することにな

退職者こだま会第36回定期総会書面表決(結果)

各議案	賛成	反対	保留	賛成率(%)
第1号議案 2019年度経過報告・決算報告	502	0	9	98.2
第2号議案 2020年度活動方針案	500	0	11	97.8
第3号議案 2020年度予算案	500	0	11	97.8
表決総数	511 (2020年6月19日現在)			

ることから適当ではないと考え、5月12日に4役・事務局会議で書面表決による総会を決議し、5月19日の幹事会で決定しました。

結果は、総数511(成立要件)総数1191の3分の1で389人)の表決があり、成立し、多数の賛成が得られました(表参照)。

また、議案に対し次のような意見や質問がありました。

①総会や

こだま会の行事(健康教室などは、横浜ではなく平塚とか厚木で開催してほしい。

②OBとして県職労連の組織強化の支援ができないか。

(2面へ続く)

道歩*

久しぶりに、こだま会の総会議案を読ませていただき、「ずいぶん頑張っている『こだま会』」を感じました▼退職後、1回だけ参加したこだま会



の総会も、その後、なかなか参加できず、「歩けるうちに1回くらいは」と思っていた矢先にコロナ禍▼地方にいて動きが取れません。でも、外出自粛は、地方にいてよかったと思

い、庭で草とりや野菜づくりなどを楽しんで(?)います▼日時が過ぎるのが早いこと。退職して20年余り、早いもので、80代です。

老人になってしまいました▼でも、勝手に憲法を変えてほしくない。戦費にお金を使ってほしくない。福祉に医療に廻す！病院の公立化の必要性を、コロナを通して、つくづく思います▼そして、現役だったらどんなに大変だったろうと想像します。医療の改善を求めたいですね。

(宮崎 暉子)

(1面より続く)

③予算案について、書面表決で総会にかかる経費(長寿者懇親会招待費用など)が必要なくなったが、その対応がない。

④書面表決でなく、コロナウイルス感染の様子を見て総会を延期できなかったのか、などです。

総会やこだま会行事の開催場所については、会員のお住いの地域分布を考慮し、集まりやすい場所を検討していきます。

OBの現役組合への支援については、どのようなことができるのかの検討が必要です。

予算案については、集会方式を前提に計上した総会の直接経費は、当然、「不用額」となりますが、「執行残」として決算報告のなかで、明確に処理していきたいと考えます。

総会を延期としなかったことについては、「何時になれば、平穩に総会を開催できるか」という確たる根拠を見出せなかったが故の判断でした。

なお、「せいかつ短信」には、多くの会員から、コロナ禍での体験など、貴重な寄稿がありました。

このような経験を活かし、今後、コロナ禍の下での新しい生活や社会活動を模索しながら、こだま会とリンクを進めていきます。

また、今後もこのような方法で議論しなければならぬ状況も考え、会則の改正等も検討していく必要があります。

さらに、平和で豊かな高齢期を過

かすの状態でした。

それでも人々は、事の重大さを認識し、右往左往しながらも、ほとんど必要最低限の外

出に心掛け、4月16日から5月25日までの緊急事態宣言の期間を、息を潜めて暮らしました。

しかし、その後、半月余り経ちますが、依然として新型コロナウイルスは生き続け、私たちは不安な状態のなかで生活しています。

結核菌がいまでも存在しているよ

ごしていくために、会員の皆さまのお知恵をお寄せください。

2020年7月14日

神奈川県職労連退職者こだま会幹事会



うに、決して新型コロナウイルスは根絶できるとは思えません。

また、私たちはこのことにより様々なことを経験し、学んだことと

人々の生活、社会状態も大きく変ることでしょう。それによって違った方向に社会が変化しても、より良い生活を築き、変化を受け入れながら人々の英智を生かして進んでいける社会であって欲しいと思います。

いま、新型コロナウイルスで日夜命懸けの仕事をしておられる方々の努力が一刻も早く報われ、安定した生活ができるよう期待するばかりです。

(6月15日・記)

投稿

=テーマ=

「コロナ」

または

自由

未知のウイルスに遭遇して

山野 澄子

5月27日の新聞で、人類学者の長谷川真理子氏の「コロナに思う」を読みました。

それによりますと、1918年のスペイン風邪の流行は、世界に広がるまで1年以上かかっているそうです。いかに世界がグローバル化した



目の中の家をウロウロしたり、



閑散とした横浜駅地下通路（4月中旬）

コロナは来るな おまえ出かけるな

忠九朗

太陽のコロナ＝光冠、光環に形が似ていると名付けられたのがコロナウイルス。その7番目に発見されたのが中国の武漢市発の新型コロナウイルス。COVID-19と名付けられた。

現在のウイルス学者によると初発生地名を病名に使ってはいけないそう。だから「武漢」とは命名出来ないとのこと。ならば2012年にラクダから感染して流行した中東呼吸器感染症候群＝MERSは命名方

違反だろうか？

コロナは2003年のSARSやMERSに比べて不顕性感染が多く、さらに病状が急変重篤化し、死亡率が高い感染症。いち早く警告した武漢の医師は当初は政府に弾圧され、その後解放されたが、当疾患で亡くなられた。

所得格差と新型コロナ対策

川城 保幸

「新型コロナ」まん延による経済活動への打撃は、派遣労働や非正規労働によって生計を維持している家庭に深刻な影響を及ぼしている。

日本は、いまや、かつての「一億総中流社会」から、新自由主義経済下の自己責任論が跋扈する格差社会へと変貌している。

OECD主要国のジニ係数（所得の均等度を表す指標。0から1までの間で、数値が高いほど格差が大きい）は、この40年間右肩上がり、日本も例外ではない。

フランスの経済学者トマ・ピケティは、『21世紀の資本』のなかで、資本収益率（先進国では通常4〜5%）が成長率（先進国では通常1から1.5%）よりも高い以上、所

日本のように国民皆保険加入ではない諸外国、中でも米国は感染死亡者が多いですね。呑気な我が国では安倍首相が外出自粛を呼びかけた次の日に、昭恵夫人は、大分県の神社参拝に50人ものツアーでお出かけの不始末。

コロナウイルスの消毒にはアル



得格差拡大は必然であるとしている。

現下の「コロナ禍」にあって、特別給付金や持続化給付金等の予算措置は、超債務大国である日本にとって財政再建をますます困難なものとする。

コールが良いとのこと。トランプ大統領は「アルコールを体内に入れないか？」と。私しや、毎晩やってみよう！

武漢に震撼させられてそれを癒やすは酒の焔

昭恵夫人のツアーも遺憾である

武漢 震撼 酒の焔

昭恵夫人はなお遺憾



し、後年度の国民負担をますます増大させる要因となりうる。

こうした経済・財政状況下にあつて、法政大学教授の水野和夫氏は、企業の内部留保は2019年3月末時点で463兆円に達しており、そのうち生産力の増強に寄与すると考えられる200兆円を除いた263兆円を「コロナ禍」対策に充当すべきと主張されている。

従業員や預金者への給与や利息を値切り、株主への配当を抑え、内部留保を自己目的化した結果の遊休資産を、いまこそ社会再建のために活用すべき方策を講ずるべきときである。

俳句と小噺 ―徘徊高齢者の自粛生活

友井 眞言

「ステイホーム」なんて、都庁のマスク姿のおばさんに言われ、「遊びに来てね」というおねえちゃんの誘いも断って、俳句の材料を探して徘徊をしていましたが、自粛も散歩も疲れてきたので、政府がやっている滑稽なことを謎かけや小噺をしてみました。

アベノマスク1

アベノマスクとかけて、モリカケ疑惑と桜を見る会と解きます。そのころは「口封じに使います」という謎かけがあります。でも、マスクの配布が遅れてしまったので、口封じが効かなくなりまして、たくさん国民が「#検察庁法改正案に抗議します」と声を大にして叫んでいます。

アベノマスク2

アベノマスクとかけて、検察庁法改正と解きます。そのころは？ どちらも「不要不急」です。

アベノマスク3

アベノマスクとかけて、辺野古と解きます。そのころは？ どちらも、間違っているけど、効果がなくて、時間がかかっても止めません。

アベノマスク4

「コロナが収束したら、みんなで思いっきり飲みたいね」
「でもよ、まだ飲むときもマスクはつけるようだろうなあ」
「それじゃ、飲みにくいじゃないか」
「大丈夫だよ、アベノマスクなら小さい顎が出てくるから、ひよいとめくれればすぐに飲めるよ」



「なるほどねえ、アベノマスクの使い方がやっとわかったよ。収束した後の飲み会に使えるように、遅れて配っているのかあ」

不謹慎な小噺

「チョイ悪爺さんが言いました。」「1970年代は新型コロナ車で幹線道路をぶっ飛ばしたもんだよな。だけ

どよ！ いまじゃ新型コロナに感染してベットでぶっ飛んでいるよ」
高齢者は特にご注意ください！

家庭内平和亭主

「近頃はね、人と会う時はソーシャリティスタンスだつてよ」
「そりゃなんだい」
「人との距離をあげることだよ」
「そうかねー、うちの女房とは、これまでもずっとそうだったけどねえ」

こだま句会の会員ですから、俳句を少し。

鎌で刈るほどに小さき麦畑
麦秋にごくんと喉を鳴らしけり
涼風や都会の尾根の野草園

俳句サークル「こだま句会」のご案内

＝気軽に「五七五」を楽しみませんか＝

発 足●2001年3月。月1回の句会や小旅行を兼ねた「吟行」を楽しんでいます。
講 師●太田土男氏(『草笛』代表『百鳥』同人、俳人協会定例会)●8月を除き、第2木曜日午後1時から4時頃まで、県庁本庁舎地下1階県労会議室連で実施
会 員●17人。会長：田中一男
会 費●月800円(投句のみの場合は500円)
句 集●これまで合同句集『こだま』を4号発行
連絡先●こだま会事務所
(毎週火曜日10時～16時 電話045-212-3179)

おすすめの1冊

『ウサギと化学兵器』

いのうえ せつこ著



花伝社 1500円+税

1944年、5歳の少女のもとに父親が一羽の子ウサギを持ち帰った。ウサギ小屋を作り、毎朝干し草を食べさせていたが、ある日、突然いなくなる。母親は「ウサギは水が付いた草を食べると死ぬが、誰かが食べさせたのだろう」と言い、それを

をずっと信じていた。戦争が

終わる半世紀以上

経った頃、著者は「女子挺身隊の記録」執筆の取材中、ウサギがいなくなった本当の理由を知ることになる。

相模海軍工廠(寒川町)、大久野島(広島県)、登戸研究所(川崎市)へ足を運び、関係者に取材し、膨大な資料を読み込んで書き上げた力作である。化学兵器とは何だったのか、日本だけではなく、広い中国で、敗戦後どのように処理され、それは今どうなっているのか、そこで働いていた人たちのその後は？

日本が戦争に向かおうとしているいま、ぜひ一読をおすすめしたい。
(新井 通子)

●こだま会第36回定期総会の書面表決ハガキに寄せられた「せいかつ短信」をお届けします。掲載者は206人●「こだま会」への要望をはじめ、ボランティアに励む方、ゆったりと生活を楽しむ方など、喜ばしい限りです。また町内会や高齢期運動、「九条の会」などでご活躍の方、闘病中の方も見られます●今回はコロナウイルス禍に関連する内容が多かったのが特徴です●紙面の都合で「幹事の皆様、ご苦労様」などの趣旨は割愛させて頂きました。また文意を損ねない範囲で、一部省略させて頂きました。(順不同・敬称略)



大原 茂(大和) いつも楽しく『会報』を読んでいます。ますますのご発展を祈ります

山口敏男(秦野) 普通の生活に戻れることを願うばかりです。仲間との草取りは楽しい。でも外出自粛で畑仲間にも会えず早2カ月余。

川田 豊(藤沢) ステイホーム中。小川晃司(箱根町) こだま会の旅行は楽しみにしています。4月5月、箱根山の新緑と花の美しい時に外出自粛、この美しい景色を一人で満喫するのは本当にもったいない。

竹の子堀、お茶摘み、庭の草取り、3月3日桜餅、4月8日草餅、5月5日柏餅でお茶を楽しみました。3月19日の北条五代参加出来ず残念。早雲寺の世話人もしています。箱根案内なら出来るので連絡下さい。

細屋良雄(伊勢原) 長寿祝い、有難うございます。自粛生活のなかですが家庭菜園で楽しんでます。鎗田登至男(厚木) 『会報』を楽しみに元気で生活しています。会員情報を掲載して下さい。

萩原正夫(厚木) 昨年10月、90歳になりました。いまま元気で家の庭仕事に精出してます。

三宅杏子(厚木) 日課どおり暮しているかと安心です。決めた通りのことをやっています！

茨木三智夫(厚木) 会員の皆様、コロナウイルスに負けないよう、お元気で過ごして下さい。

菊田 勲(藤沢) 後期高齢期に入り、ジョギングがウォーキングに変わったが、元気に過ごしています。

門松真由美(小田原) コロナ禍現場の皆様の大変さに思いを寄せ感謝しつつ、早く安全な終息を心待ちにしています。アベノマスクはまだ届かないので、ババのマスクを大量に作り楽しんでます。

村崎亮一(横浜) 安倍さんの傲慢な態度で黒川なる検事を総長にすべく定年延長法案の制定を図ろうとした。ところがこの人物は賭博麻雀野郎というチャライ男であったのだ！

川城保幸(茅ヶ崎) 「#検察庁法改正案に抗議します」に投稿するため、初めてツイッターに挑戦。法案の見送りに追い込み、久々の充実感です。やり始めると面白く、毎日のようにツイートしています。

濱島正範(相模原) 2020はコロナ騒動でおしまい。年金生活者は幸せだとつくづく感じる。来年のオリンピックを信じて頑張ろうと思う。

赤堀正光(相模原) 改めて保健所、衛生研究所など公衆衛生部門の充実・強化を。

加藤正雄(相模原) 新型コロナウィルスの影響で、すべての予定が延期または中止となり、ステイホームで過しています。そのかわり、部屋の片づけや清掃する時間が増え、

きれいになりました。

加藤和子(相模原) マスクはまだ届かない。特別定額給付金の申請書も届かない。各種税金の納付書は次々と届き、引き落とされている。残り少ない人生の時間、温かい政治の思いやりを感じたいですね。終の時間、笑顔で過ごしたい。電車に乗ってどこかに行きたい。

太田 顕(相模原) 書面表決、ご苦労様。コロナ下で5月1日、相模原市内のメーデーに参加できず残念でしたが、3月16日、やまゆり園事件判決、後も祥月命日の26日の献花を、地元、共生社会を考える会、で参加しています。42回相模湖ダム追悼会(7月26日)は、縮小実施の方向で検討しています。

湯川 勉(二宮) コロナ禍のなか、横浜で介護事業所を手伝っています。80代なので新型コロナウィルスの感染が心配ですが、人手不足のなか、仕事をしています。医療職も重要ですが、介護職も大変です。高齢の単身者の対策も重要です。

雨宮和雄(海老名) 元気でやっています。自動車運転免許の認知機能検査は終了、高齢者講習も予約日が決まったところで、新型コロナの緊急事態の宣言ですべてキャンセルとなり、今後何日再開できるか不明で、このまま返納かも。

櫻井よし子(横浜) コロナがあっても元気に過ごしています。

山野澄子(海老名) まさかまさか、こんな大事で恐ろしいことが待ち構えているとは夢にも思っていないでした。私が生れた昭和15年は第2次世界大戦の始まる前年、幼少期は暗く淋しかったのをうすうす感じていました。今回の「コロナ」は、違った恐ろしい経験です。2度と経験したくありません。

宮本康之(横浜) 白内障で不自由しています。

後藤貞夫(横浜) コロナ禍のもと、映画にも旅にも足が出ず、体重も減らない毎日の生活にストレスを感じています。安倍政権下での理不尽な動きには一層の怒りを感じています。いつも『会報』、ありがとう。

菅野健児(厚木) 私は今年8月15日(終戦記念日)、80歳になります。元気です。新型コロナで社交ダンスが出来ないので、相模川堤防道路を毎日ウォーキングしています。

青山雅弘(秦野) マスクをして近くの遊歩道をウォーキングしている時、マスク無着用のランナーとすれ違う際は、一度息を止めながら歩いています。ちょっとと苦しいです。

石原健二(東京都目黒区) 『会報』が届くのを楽しみにしています。食道ガンの手術で体力が落ち、病院通いが唯一外出の機会となっている今日このごろです。

小川和三(厚木) 役員の皆様お世話になります。

丹治イセ子(横浜) 自粛生活のなか、『会報』のこだま俳壇を感嘆しながら拝見しています。1日も早い収束を願う毎日です。

毛木 勇(横浜) 私は団地内の空地を借り、野菜作りをして、となり近所に配り喜んでもらっておりです。元気のもとになります。

戸塚 忠(静岡県三島市) 長距離トリアスロン大会に出場を続けて35年。2019年9月(81歳)、佐渡国際トリアスロン大会(水泳2・0 自転車108・0 マラソン21・1 合計131・1時間)に出

場し、年代別(80歳)の部で優勝。併せて最高齢完走者賞を受賞。日本トリアスロン連合(JTU)からも年代別日本一の表彰を受けました。お陰様で首から下は丈夫で若い方と一緒に肉体労働が出来ます。スポーツが出来る平和に感謝。

伊東 久(秦野) コロナ禍自粛で都会の人がプランターや庭先でする野菜作りが報じられています。食糧自給率の低い日本。プランター作りでも立派な自給率向上です。農家2男坊 ボケ老人。

藤間修平(小田原) 体力的に横浜まで行くことが大変になりました。若い時は通勤していたのですが、年齢には勝てず、です。残念です。

植木政光(秦野) 作年から準備していた都美術館などの作品展がすべて中止になり、8割完成の作品が

中断。より味を出せるよう前向きに考え制作見直しタイムにしています。松尾悦行(鎌倉) 今年に入ってから本部の打合せスペース等をお借りして、福祉連OBの会合を何回か持っています。

星野玲子(伊勢原) コロナともども、安倍政権には早く退いてほしいです。1日1日が愛おしく、毎日大切に送りたいと思っています。

石川 実(平塚) こだま会の活動を心から支援します。安倍政権は森友、加計、桜を見る会、黒川検事長など悪の限りを尽していますが、新型コロナ対策ではアベノマスク、動画、対応の遅れなど、無能さをさらけ出しています。今こそ立ち上がるろう!!

原 秀夫(伊勢原) 老人で、皆様のご厄介になっております。紅葉淳一(厚木) 病気もせず元気、適当に山登りなどをし、体調整備をしています。頭脳は元気がなくなってきました。頑張っているつもりですが…。

杉山茂夫(茅ヶ崎) コロナによりスポーツクラブが休みにになり、太极拳やヨガ等もできず困っています。柏木 聰(小田原) 仙石原の家庭菜園。満足できる出来はめったに無い。例年だと凍結する大根が、今年には暖冬で凍らず無駄なく利用できました。コロナ引きこもりでも元気に楽しんでいきます。

姉崎俊英(松田) この度、私の77歳のお祝いのお品をご送付いただき有難うございました。退職以来、健康と良き知人友人に恵まれ今日を迎えられ、今は地域活動のお手伝い等をしながらのんびりと過ごしています。

齋藤孝治(横須賀) コロナ対策のため、在宅しています。

三村義広(千葉県八千代市) 文化・レクの他、各分野のとりくみに関心を持っています。参加できるのはぜひ参加したいと思えます。

加藤利秋(伊勢原) 2年前の圧迫骨折が治らず、会の行事参加も出来ず残念です。役員の皆様も健康に留意され、活動を進めて下さるようお願いしています。

塚本哲也(小田原) 再任用2年目。今年はコロナ禍対策のため、在宅テレワーク等新しい働き方に戸惑っています。保健所は大変な状況と伺っており、職員の健康が心配です。県央地域県政総合センター勤務。

市川 清(大和) 新型コロナウィルスの関係で、何も活動が出来なく困って居ります。

井坂房子(横須賀) 長寿のお祝い、ありがとうございました。この年まで元気であられたこと感謝しつつ、これから先何があるかわからない1年1年だと思いますが、その時はその時、あせらず出来ることをやっていきたい。『会報』、楽しく読ませて

いただいています。参加してみたいと思う行事などありますが、なかなか実現しません。

佐藤七夫(相模原) 老人施設コスモセンターで生活しています。老後の生活を楽しんでいます。

岡野三重子(川崎) 「アベノマスク」。こんな無駄な事に国民の血税を思いつきで、いとも簡単に使い、もう緊急事態解除が出て、手作りマスクも市販のマスクも出始めたのにまだ届かない。これを止めさせる手だてはないものか。

柏木 允(中井) 畑の草取りや庭の花いじりを楽しんでいます。山野草、お茶花等、色々花盛りです。

鈴木公彦(横須賀) 89歳、元気です。3月末、60年連れ添った妻に先だたれ何とも淋しいものです。皆様、奥様を大事になさって下さい。皆様のご健康祈ります。

森マサエ(横浜) 『会報』、ありがとうございます。93歳ともなると友達もいなくなり、外に出ることもなく夕方家のまわりを10分ぐらい歩くだけです。『会報』の歴史の話、旅の話が楽しみです。

千葉真弓(小田原) 新型コロナのおかげで昔のような静かな観光地をドライブで楽しんでいます。山も海も美しく、木々の緑、色とりどりの花、そして香りに自然はこんなに美しく思ったのだと思ひ出させてくれた春でした。

島田多嘉子(横浜) コロナウイルスで、いろいろな行事等が中止になりました。「三密」で追いこまれた業種もたくさんあります。補償も含めてこれからの生活のあり方を考えていく必要を感じています。

札木 繁(茅ヶ崎) 湘南海岸の茅ヶ崎市内に住んでいます。満87歳となりました。今後も「こだま会」の発展を望みます。

桜井るみ(藤沢) 川柳一句「10万円あとに控えるコロナ税」。いくら引かれるのでしょうか。しつかり見ていきたいですね。

木村 昇(埼玉県久喜市) 人生100年の残り32年へ向かい、健康に留意し、NISAで余生の資金準備をして自立した生活で過ごしたいと思ひます。

恩田 實(横浜) 昨年度で介護事業を退職し時間の余裕ができたので、会のお手伝いをできます。

惣田智子(横浜) 『会報』、ありがとうございます。コロナから何を学ぶか、新しい生活様式はゆとりを持った良いものにしたいですね。

井村友彦(海老名) 皆様にお世話になります。元気にしています。加瀬さん御苦労様。無理をしないようにしてな。飲みすぎるなよ。加藤利秋さんも元気で!

山口 茂(秦野) 家の中でおとなしくしています。元気で。坂本茂三郎(横須賀) 最近の厚

顔無恥の安倍総理を見ていると、傲慢な祖父の岸信介の政治手法を思い起こし、毎日うんざりして新聞やテレビを見ている。(S 35年の安倍闘争と重ね合わせて)。

川井弘次(厚木) 86歳で部屋のかたづけが大変な毎日です。

田野倉一夫(相模原) いつも『会報』をいただきありがとうございます。今回の俳句、皆すばらしいセンスで楽しませて頂きました。知人の俳句も素晴らしいかったです。

中塚 繁(川崎) 年はとりたくありません。80歳を過ぎると字も読めなくなりました。

前回の東京オリンピックの時は、相模湖から江ノ島までトイレを運ぶ仕事をしました。来年を楽しみにしています。皆様も頑張ってください。

榎田富久子(横浜) 高齢の身、新型コロナウイルスの感染拡大自粛で各種講座や体操にも行けず、自宅で過ごしています。

こんな日々は生まれてこの方初めて。日にちや曜日も定かでないなりそうです。徒然草、方丈記の中に何か生きたより(よすが)が思い出せば:などと。

神戸純成(厚木) 新型コロナのため家に閉じ込みがちになり重苦しい日々が続いています。ウイルスに負けず老体にムチ打って健康保持のため週2〜3回、1時間程相模川の土手を歩き、家庭菜園で体力を調整

しています。天候不順日は読書とパソコンで気を紛らわしています。1日も早い新型コロナウイルスの終息を祈っています。

御嶽典文(湯河原) 今年で90歳からもう1歩踏み出してしまいました。人生長いようでもまた、あつと言う間に過ぎてしまった気がします。会員の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈りいたします。

高橋永子(沖縄県石垣市) 皆様、「コロナ感染」に負けず元気にお過ごしのことと思います。私の住む沖縄県の石垣島も4月初めに4人の感染者が出て人口5万未満のこの島では騒然となりました。今では少しずつ「観光の島」が動き出しています。

私は現在人手不足も有り、昨年12月〜3月末まで市役所の生活保護課に在職し、毎日「コロナ禍」で生活援助を受ける方で混雑しています。早い収束を祈りたいです。

大川照雄(藤沢) べつになし。あえて言わしてもらえば、お陰様で最後は山梨学院大学の教授として終りました。現在は前から読みたいと思っていた本を読みながら余生を送っています。

鈴木貞子(横浜) 『会報』をきちんと送っていただき感謝しています。平成24年の夏に脑梗塞を患いまして、1級1号の障害者になり、左半身が動かなく1日3回ヘルパーさんに入

つてもらっています。朝昼夕です。つくづく健康の幸せを思います。

鈴木定雄(厚木) 新「コロナ」禍で、知ったこと、見たこと、(見えない不安の中で)。世界の人の流れを「コロナ」の流れ、中国の製品(製造)の多。日本の社会構造、産業構造、就業構造…。日本人の人格(？)、人というもの(自己分析)。「コロナ」との共存(共生)。

増子麻江(秦野) 「コロナ」で医療関係の方々、御苦労様です。感謝しています。総会会場について、もう随分以前、厚木合庁で、横浜以外では1回のみ？ 行われました。今後、横浜以外で行われませんか？

倉田直亮(藤沢) コロナウイルスのため、あまり外に出る事もなくおとなしくしています。マスクも子供が送ってくれて助かりました。もっぱら妻に代わって買物に出る事が多く気晴らしになります。

笹森 昭(小田原) 長寿お祝品、有難うございました。

高田量介(横浜) 右肩の下がるグラフに励まされ。

竹内和宏(秦野) コロナ対策のためこの3カ月は全ての活動が中止となる。毎日山麓の家庭菜園に日参、富士山を仰ぎ、野鳥の声を聞きながら、詩を吟じてきました。解除となったが、まだ心配だね。

櫻井哲雄(平塚) 新型コロナは

老人が要注意と言われているので外出自粛を守り、読書などで時間を過ごしています。そのほか健康のため、歩くようにしています。

菊池洋子(横浜) 長寿祝い品、ありがとうございます。報道の中で100年前のスペイン風邪の話が出てくると、8年前103歳で他界した母が、生前、「すぐ上の姉(当時12〜13歳)がスペイン風邪で死んだ」と言ったことを思い出します。

神保 武(平塚) 年齢相応の暮らしを送っています。

石田啓子(横浜) コロナウイルスの拡大で外出自粛の中、会員の皆様も頑張っていることが伝わり、いつにも増して今回の『会報』が嬉しかった。編集発送作業など事務局の皆様、本当に有難うございます。皆でこの難局を乗り切りましょう。俳句が1面、とても良かった。どの句も味わい深くすばらしかったです。

平川千恵子(横浜) コロナにより皆様にお会い出来ない事が残念です。お互いに「コロナ」に負けな

いよう、頑張りましょう。

湯尾正文(横浜) 今年ほとんどもないお客様の来訪で、日本中、いや世界中困っています。何時お帰りになることやら。

入間川昭遠(横須賀) コロナウイルスのこともあり、庭に来る野鳥や野良ネコを眺めながら水割りを楽しんでいきます。

尾田喜作(横浜) 世界全体、新型コロナウイルスに負けているのは世界戦争のようです。人間の弱さがここに出ているのか。

増子忠治(平塚) 新型コロナウイルスで家のなかで『三密』を守っています。草木が伸びるその自然の緑の美しさに元気をもらっています。ごきげんよう。

有谷金子(鎌倉) 仕事と家事で追われた時間、貧乏時代を終え古希となった今は、自分の時間が持てるようになりました。裏山の藪をきれいにし、畑を作り、野菜や花も育つようになり、今は「三密」を避けてラジオを持って1日中畑仕事で過ごす日も続いています。

内藤光夫(横浜) 今年は新型コロナの流行で世の中が一変しました。私も家に閉じこもりの毎日で、健康に気をつけて暮らしています。

山口利弘(三浦) コロナに負けないように畑で野菜作りに頑張っています。

内田 稔(横須賀) 『会報』、嬉しく読んでいます。5^コ+6^コ+7^ナ+18^ナで活動もままならずせつかく予定していた「健康教室」ができず残念です。早くできるといいですね。

田中明男(横浜) 変りなく毎日元気にしています。

田中 譲(福岡県小郡市) 私ので元では4月に開かれる各種団体の

総会は全て書面議決書による総会に切替えられました。神奈川県で生活されている皆様が、健康でお過ごしになりますようお願い致します。

米山東伊(横須賀) パソコンで『ペスト』と『復活の日』を読みました。新型コロナウイルスのワクチンが早く出来てほしいと願っています。

新倉仙太郎(三浦) 昨年は先約があり総会に出席できず、今年は先輩諸氏とお話しをと思い、コロナ騒ぎで残念。年金者組合、医療生協の会議は全部無しになり家に立てこもっています。でも、コロナには負けない体力作りで頑張るぞ。太陽のコロナは良いが、ウイルスは、だめ。

森口祥子(横浜) コロナ禍で気分はうつとうしいですが、なんとかやっています。皆様どうぞ御大事にお過ごし下さい。

小林平治(藤沢) 新型コロナウイルスの緊急事態宣言。何時解除されるのか、いやになっちゃいます。別居している子どもからは、電車に乗ると感染するかも知れないので家に来るなどのことで、孫達とはスマホのラインビデオで顔を見ながら会話をしています。私は外に出るのは日常の買物くらいで、マスク、手洗消毒で何とか乗り切っているこの頃です。

豊田幸子(大井) いつでも山行できるように、スクワットなどしています。

鎌田利治(相模原) コロナウイルスの影響で自粛生活をしています。地方自治の重要性を知らされました。この機に世界は対立でなく助け合う世界になって欲しいものです。

飯田隆介(横浜) 長寿の祝い、ありがとうございます。今後も健康に留意して余命を楽しく過ごして参りたいと思っています。

石井紀男(横浜) 皆さんにお会いできず残念。釣りもできず、山歩きもできず、専ら畑作業で過しています。

保土田政子(横浜) 紙芝居を次世代につなごうとの会に関わっています。手づくり紙芝居や紙芝居の上演などです。コロナによる「三密」禁止で各地の会員は、デジタルで流すなど試みも始まっています。世の中AI、IT化の流れのなか、文字、活字はデジタルになると行政までも前のめりです。文字、活字や生の文化を絶やしたくないと思うこの頃です。

山崎隆朗(横浜) コロナに負けず元氣です。

芝 忠(横浜) いつもお世話になりありがとうございます。団体の業務がほとんどストップして、こんなことがあるんだとびっくりしています。6月からは稼働します。

宮下 光(横浜) コロナが怖いので、家にこもっています。

鈴木 智(横浜) 長寿祝い品を、

誠にありがとうございます。『会報』を楽しみにしています。

岸 靖之(大和) コロナ自粛で自分をみつめることができました。朝の散歩、ジョギングを始め、読書(村上春樹10冊)、音楽や書道の歴史を学び、庭木の手入れと夏野菜(トマト、ナスなど)の栽培、スマホのトレーニングなど楽しみました。6月から「アベ9条改憲NO!」のとりくみにガンバロウ!

松村美知子(大分県速見郡日出町) 故郷に帰省して20年を経過しました。何とか元氣に過ごしています。小島 工(東京都武蔵野市) 散歩に読書、パソコンで元氣に過しています。

江川公明(三浦) 長寿祝を有難う。こんなに長生きするとは思いませんでした。しかし県職労が限りなく弱体化するのを傍観しているのはつらい。新組合と真剣に話し合い、再統一して再起を図るとかの閣外支援と

かすべきじゃないの! 分裂したのは我々の世代だよ。吉田洋一(三浦) 3本足でよたよた2、3日ごとに買物に行くだけです。堀内 薫(栃木県塩谷郡高根沢町) 現在87歳。1日置きにヘルパーとデイサービスの世話になっています。

菊池秀行(町田) 「他人と2メートル離れる」なんて言われているけれど、私は携帯電話がこの世に出た時から

電磁波の有害性を考慮して、これをやっていました。外に全く出られなくても毎日鉄道模型の運転を満喫しています。自粛が続いても平気です。困りません。外出は平日の朝9時すぎにコンビニかスーパーに昼食を買いに行くくらいです。

天羽忠子(寒川) コロナのため仕方なく1日約1時間30分から2時間程度散歩しています。ボケなくて、気分が乗った時に油絵の小さなものを3枚描きました。その他クラブ活動はお休みです。

増村一夫(千葉県大網白里市) 新型コロナウイルスの感染拡大で4月、「緊急事態宣言」が発令された。私は国民学校当時にも、先の大戦で、空襲警報で避難命令を聞いている。今回のウイルス感染は高齢者の死亡数が多いことから不安が強い。大切なことは一人ひとり、協力し、助け合うことと痛感している。

市川敦子(二宮) コロナウイルス蔓延のなか、平常どおりの会報作成、運営ご苦労様でした。2020年度の「てく・テクの会」「健康教室」などが楽しみです。教室はできれば平塚位の場所で行われると行き易いのですが。

戸田晴美(川崎) アベマスクも10万円の申請も届かず、働く人々はコロナで大変です。自粛中はマスク作りや手芸で袋物を作って、買物は生協でとり、母のホームへ飲み物を

週3回届けるのが外出でした。病院を減らし、保健所を減らし、市民はひどい目に。2波来ないことを祈っています。

鈴木陽子(横浜) 祝長寿として喜寿を祝っていただきありがとうございます。

三井光子(横浜) コロナ自粛の日々、庭に小さな畑を作り山葵、葉大根、コブ高菜の種を蒔き、毎食摘んで喜びを味わっています。

牛尾隆幸(逗子) 新型コロナウイルス感染症、本当にやっかいものの超代表ですね。いららないよ。外に出るのもおっくうですね。「長寿祝い」をいただき、ありがとうございます。

宮澤恭子(茅ヶ崎) コロナ禍のなかで、図書館で借りたまま返却却猶予でゆっくり読むことができ、それに刺激され読書三昧。片付けも兼ねて古い本に目を通すと違った味わいがあり、結局処分できず本箱に戻ってしまった。ある旅行社のオンライン企画の「小森陽一、近代文学講座」で、漱石の『こころ』がよかった。

河口 浚(長野市松代町) 信州松代にリターンして田舎暮らし3年目。闘病の傍ら、体調をみながら菜園作業、川柳、オールデイズや名画鑑賞を楽しむなどしています。榎本勝雄(藤沢) 幹事の皆様何時も大変お世話になり厚く御礼申し上げます。これからもよろしくお願

い致します。

奈良喜吉(藤沢) いっそうの活動を期待、望んでいます。

並木まり子(横浜) 4年間湯河原町の共産党町会議員として無事任務を果たすことができ、3月に素晴らしい後継者も誕生。ありがとうございます。ありがとうございました。これからはまた、こだま会のイベントに参加します。

広田 茂(秦野) 「長寿お祝い品」をありがとうございました。今年は新型コロナウイルス感染症防止により、我が家のクルーズ旅行は断念しました。秦野市は3月よりスポーツ施設が閉鎖となり、毎週行っていたテニス、バトが出来なくなっていました。今は1日も早い解除を願っています。『会報』発行時には、閉鎖は解けていると思いますが。

玉井 アツ(相模原) ボーンボーンと時を知らせる柱時計、遅かれ早かれ時をきざむ柱時計。「新型コロナウイルス」で自分も柱時計のように毎日を元気づけられる毎日です。手代木昭八(横須賀) 新型コロナウイルスの世界的な流行で大変な世の中になっています。私はウイルスに負けない身体づくりのため、バランスの良い食事を心がけ、適度な運動をし、頑張っています。

小林初枝(相模原) 3月末で再任用を終了しました。コロナの影響により外出の機会も減り、ゆっくりと過ごしています。『会報』で県職

場の情報や会員の活動を知ることができそうで楽しみにしています。

鳥居千珠子(東京都大田区) 田園調布九条の会の活動も講演会の中止など動きにくくなっていましたが、会の会報は20人の配達員と郵送で毎月発行。茅ヶ崎保健福祉事務所から連れてきた猫も元気です。現職員さん達の大変さに胸が痛みます。

鳥居伸太郎(東京都大田区) 3月、近所に住む中学1年と2年の孫・姉弟が休校に。我が家で昼食して過ごしていた。4月直前、緊急事態が発令された途端、全く我が家に寄り付かなくなった。父親(息子)はテレワーク、昼食準備は彼の仕事になったが、しばらくして中学2年のお姉ちゃんが引き受けている。10万円の特別定額給付金は社会貢献活動にカンパします。

岩柳良雄(横浜) コロナでステイホーム中に四苦八苦してラインを何とか。孫とビデオトークし、#フエイクでアイマイな政治にツイートをしています。男5人の国内温泉旅、早く再開できると良いのですが。

野澤秀子(二宮) 毎日「ひきこもり」生活を続けています。人と人との繋がりがどれほど大切か身にしみています。『会報』が届いてとても嬉しく思い、こんななかで発送して下さったことに感謝です。

小澤まゆみ(小田原) 変わらず過しています。新型コロナウイルス感

染による自粛のなか、『会報』発行や活動の企画等有り難うございます。吉田綾子(逗子) コロナ休業中にもかかわらずの働きに感謝します。退職後四半世紀、時間への早さに驚きの毎日です。できる事を最大限実行して乗り切りましょう!! 長寿祝品、確かに受け取りました。ありがとうございます。

桂 稔郎(横浜) 大和市の園芸相談員として月5日程務めています。このところ、相談は電話、メールに限られています。土、日、休日は団地の同好会で囲碁を楽しんでいます。上園康雄(厚木) よろしくお願

いします。安田葉子(横浜) パズルの賞品ありがとうございます。村山 登(小田原) 会のますますの発展をお祈りします。山下慶之丞(逗子) 『会報』、楽しく読ませて頂いています。田村久男(相模原) 『会報』、楽しく読ませて頂いています。

田中 充(茅ヶ崎) 御苦労様です。城所和子(秦野) いつもお世話様です。

稲垣和成(平塚) なんとか元気でやっています。

長田茂夫(南足柄) 特にありません。今後ともよろしく。

行谷愛子(三浦) 海を眺めながらキャベツ畑のなかを散歩していま

す。この頃はジャガイモやカボチャも多くなってきました。

石田 昊(中井) コロナウイルス、油断できませんね。井上美恵子(相模原) 退職してずいぶん経ちますが、仕事に行っていた時は毎日、変化がなかったのです。今日はどこで何をと、今は手帳とにらめっこです。

阿部 豊(相模原) 「新型コロナウイルス」対応で、大学などの生涯学習講座等が中止となり、新年度は県職労県央支部の手伝いと、家庭菜園づくりに精を出しています。オスプレイの目撃は3月〜5月で22機と、昨年を上まわるペースです。

鈴木三郎(横浜) 知事室と財政課で一生涯懸命かされ、26歳独身で公園のトイレに首つり自殺とは、あまりに可愛そう。死後、知事は母親と並んで写真をとっただけは、なんとおはや。食堂、職員の福利厚生施設をつぶして、事務室にしている。その在り方が問題だ。

佐伯義郎(横浜) 新聞を購入する機会が増えました。図書館のありがたさを実感します。

小川 清(鎌倉) 昨年来から体調が芳しくなく、毎月夫婦で参加してきた国会19日行動も、半年近くさぼっています。今は落ち着いてきたので、ボチボチ出かけようと思っています。皆さんの近況は楽しく拝見させていただいています。

渡辺恵理子(横浜) 巣籠り生活の影響か、フラフラしたり膝が痛かったり。焦ってスクワットを始めましたが、2日で終わりました。

山田真理子(大磯) 『会報』は励みになります。懐かしい名前、存じ上げない方、様々な記事、そして毎号作ってくださっている方々に思いを馳せながら読んでいます。

尾登要三(松田) 老人。何とか元気にしています。

山本秀実(長野県飯山市) 政府のオリンピックと中国首席の訪日配慮のためにコロナへの初動対応が遅れ、多くの方が影響を受けたのは明かです。同様に黒川検事長の問題等々、やっっていることがムチャクチャです。早く「小憎」の政治を終わらせましょう。

広瀬文彦(小田原) 体調を壊し入院し、6月12日に退院しました。

鹿郷真弘(小田原) 新型コロナウィルス感染対策のため我家もあらゆる行事が中止となり、予定も何もかも全て崩壊され、恐れていたことが現実的に実感させられました。1日でも早く安心した生活状態を期待したいものです。返事が遅くなり申し訳ございません。高齢者のボケ発生のほしりでしょうか、ポストへ投函をすっかり忘れてしまいました。健康維持のため、毎日コツコツと運動しています。

登坂克男(秦野)

孫に「ジ

ジ、畑依存症」と言われながら、弁当持ちで畑通いをしています。

柳瀬節子(平塚) 演劇鑑賞団体の会員になっており、2カ月に1回、今年3月、5月は会場が使えないので中止。7月も中止が決まりました。3密を避けると今までのやり方ではできないとのこと。今後どのようになるのか気になります。

檜山芳恵(大磯) 『会報』ありがとうございます。退職後10年経ちましたが、初めて近況報告します。一応元気で色々な事に手を出して社会につながっています。80歳までは現役でいたいと思っていますが、政治家よ、しっかりとして下さい。

本山文子(横浜) 鴨居駅頭宣伝や団地などで横浜市のカジノ誘致反対をとりくんでいます。水彩画と俳句(月1回)では両方ともうまくなく、四苦八苦しています。

角田周久(海老名) 群馬県渋川市赤城町での半田舎生活を継続中。昨年は、隣接の農耕放棄地の雑草や竹の被害が広がり、無料で借り受け耕作可能地を広げました。昨年は義妹や義母の法事が続き、療養中の兄への外出援助も加わり、何かと気ぜわしくなり始めています。

吉澤靖夫(藤沢) 長寿お祝い、ありがとうございます。何に不自由なく暮らしていますが、筋力の低下を自覚しています。コロナの影響で

スポーツもできません。何ごとも人との繋がりが大事だと思えます。『会報』を楽しみにしています。

鶴田賀陽子(横浜) 新型コロナウィルス感染拡大の報にヒヤヒヤビクビクの毎日。病を持つ高齢の老体は運動不足が加わって歩行がいつも悪くなりました。普通の日常の尊さよ、終息を祈り、今後の生き方を問われる昨今です。

酒井聰子(藤沢) 長寿祝品をいただき、ありがとうございました。日常の生活がすっかり変わってしまいました。それでもまた、日は昇る。地球はまわっていることを実感する毎日です。

中村美代子(横浜) コロナ感染が解除されてから「アベマスク」が到着。給付金の申込用紙は6月8日到着。安倍政府の対応の遅さにイラついていきます。妹が5月29日ガンで死亡し、返信が遅くなりました。

栗飯原 茂(秦野) コロナウィルス禍で自治会活動、山や写真のクラブ活動も全て中止状態。健康管理のため、家の周りを散歩しています。飯塚武弘(厚木) 6月に入りコロナウィルス緊急事態宣言が解除されました。でもまだまだ外に出られない。コワイ・コワイ毎日です。

秋中幸子(鎌倉) 夫の秋中一允が昨年11月に亡くなりました。リハビリ入院中に敗血症に感染し、意識不明となり、血小板減少症により、

帰らぬ人となりました。皆様には長い間お世話になり、ありがとうございました。

久保寺公正(秦野) 今年の夏こそは北アルプスの五竜岳にのんびりと登ろうと楽しみにしていたのですが、コロナで残念。もう安倍首相を辞めさせないと、国民が不幸になります。国のトップが理性・知性・品性の三拍子に欠如しているようでは国民の恥ですよね。早くやめろ！やめさせよう！！

稲垣博司(大和) 日頃大変にお世話になっていきます。

大塚敏高(横須賀) 再任用の金沢文庫勤務も終わりました。65歳の今から何が出来るか考えていました。が、そうした折りにコロナ禍。うむ、早く収束させたいものです。ウィルスとの上手な共生がどうすればできる：ですね。

小林節子(横浜) 昨年夏に膝の手術をし、今はどこにでも行けそうですが、コロナでどこへも行けません。残念ながらコロナとは長期共存関係で付き合いが難しい。政府に言いたいことが一杯。安倍やメロ！

池崎里美(横浜) シニアのアンサンブルに入団して2年。今年はコロナウィルスの影響で、しばらく演奏ができない。いつ再開できるか。早くメンバーと吹きたいです。

田島幸子(横浜) 新型コロナ禍

で引きこもりがちのなか、家庭園芸に夢中になっています。花づくり、ゴーヤやトマト、サンチュ等々やさしいものから始めています。

星 妙子(横浜) 緊急事態の最中、「必要至急」なんだからと言い訳しつつ骨折の母の元へ。大分記憶が疎な母、それでもニッコリと笑顔を返してくれました。サポートして下さる介護の方々に感激しました。

加藤光男(横浜) 残念です。

小山田洋志(秦野) 毎朝6時30分からのイオンの庭で第1・第2のラジオ体操に参加。その後、イオン外の歩道一周のウォークが日課です。

小澤加代子(相模原) コロナは気にする程不安が募ります。「まだきていない未来を心配するより、今やるべきことをしっかりとやること」と言い聞かせて生活しています。

小山直次(相模原) 元気で毎日畑に出勤しています。今年は玉ネギ、ジャガイモも豊作です。道保川にホタルが飛び始めました。自然って、いいですね。

田島 稔(相模原) コロナ感染予防で自粛のため、ボランティア活動も中止しています。

高島恵子(東京都東村山市) 私はカンガルーの会の代表になっています。この度は緊急署名にご協力いただき、ありがとうございます。6月3日に2410筆、厚生労働省に

署名を提出しました。カンガルーの会は1990年に県立母子保健センターの廃止反対運動により利用者と職員などで結成された会です。現在は助産院バースあおばを拠点に活動をしています。

片野憲二(小田原) 新型コロナウイルス感染拡大で、3月ビキニデー、4月ニューヨークでの世界大会、5月平和行進が中止。そして8月の原水爆禁止世界大会(オンライン大会に)も集っての大会ができません。原水爆禁止運動も大きな影響(署名、募集活動等)を受けました。

鈴木隆雄(東京都目黒区) ジャーリングに挑戦しています。色々な技があり、身体の老化防止にもなり、将来入る老人ホームのジャグラー目指し励んでいます。

古山忠男(東京都町田市) 元気で生活しています。

高橋トシエ(伊勢原) 喜寿のお祝い、ありがとうございます。頭と体の動きがちぐはぐで、日常生活がうまく進まず、あつという間に一日が過ぎてしまいます。コロナ生活で一層不自由となり、大変です。

平能芳子(横浜) 年を重ね、またコロナ騒ぎで、医者以外家の中でおとなしくしています。いつも『会報』を楽しみにしています。

吉田龍子(横須賀) コロナで様々な行事が休止されていますが、旧民生協の方々が、県政に対し、(指定

管理者)意見を集約し、運動を進めている。頼もしい限りです。

小川達子(横浜) 相変わらず元気で毎朝庭仕事や家事で忙しく、コロナでお休みでした外出も5月から趣味教室、サロン、ボランティアも始まり、また、外出が多くなりますが、気をつけて参加します。

柳沢俊明(藤沢) 人との物理的接近をなるべく避ける「新しい生活様式」が求められるなか、人との繋がり、連帯を強めていくにはどうしたら良いか。こだま会は、友の顔が見え、楽しく生きていく支えです。困難な状況の下、工夫を重ねて運営されている役員や行事の世話役や参加者のみなさんに感謝です。

佐藤榮一(静岡県富士宮市) コロナ対策の政府配布のマスク(アベノマスク)が6月に入っても届いていない。国民全員に配布と私が思い込んでいたのかな? 自分の持ち分はあるので、生活苦でマスク購入が困難な方々のためにボランティア協会に寄付したい。

望月一孝(秦野) 中学の時に始めたハーモニカ。退職後に教室に通い、クラブに入り、老人ホームや病院に慰問に行き、音楽会にも参加しました。最近吹いていないので、6月から練習を始めました。

長島 弘(横浜) スポーツジムが再開。入口で手指消毒、検温、問診、館内でマスク着用、間隔あけ等、

徹底したコロナ対策で以前とは様変わり。ジム休業中、日本橋から箱根湯本間の旧東海道を歩いてみました。足は豆だらけとなったが、街歩きにはまりそう。秋になったらいろいろな所を歩いてみようと思う。

岡崎 明(小田原) 思いがけない長寿のお祝いをいただき、ありがとうございます。今の日常生活は女房の動きをちよつとずつ気にしながら? ほとんどは自分1人のことのみで動いています。何と1日の時間の少ないことでしょうか。「終活」のまとめもできていないので、少々焦っています。皆さんはいかがですか?

森本 豊(相模原) コロナで憲法集会等々が中止となり残念です。古谷孝雄(東京都新宿区) 産業界労働局総務室経理グループで、再任用4年目を迎えました。

常世田芳子(横浜) 『会報』、いつも楽しんで読んでいます。料理教室はぜひ続けていただければと思います。

大井夕子(秦野) 緊急事態宣言下、外出自粛のなか、退職後の断舍離第2弾を行った。(天袋、戸袋の中に埋もれていた物等)。但し、写真は何回目の断舍離になるのやら?

高木みどり(横浜) コロナで演劇、オペラ、講座、合唱練習と演奏会が中止、休止。ステイホームで洋裁や片付け、検事の仕事を周

辺の読書などの日々。20年ぶりにパン焼きを復活。スマホを持たないの
で、QRコード、不自由なことでしょう
か。

児玉充弘(鎌倉) コロナウイルス
感染拡大防止のため、旅行を自粛
していましたが、今月沖縄の慶良間
諸島へシユノーケリングに行こうか
と思っています。

山口基子(横浜) コロナウイル
スが早急に納まることを願っていま
す。本来ならば新緑の季節の変わり目
を満喫して野山を楽しめるのですが、
近くにある緑豊かな都市公園(舞岡
公園)へ散歩する気持ちも失せそう
です。

濱田公明(座間) 妻の実家(築
43年)の建替えのため、ハウスメー
カーと打合せ中、コロナの影響でシ
ョールームを見ることが出来ず、リ
モートで打合せ。「お手元のカタロ
グ○ページを御覧下さい。…」と。
家造りも遂にカタログで決める時代
に!? コロナで退職金運用資金も目
減り!! 来年1月から東京都民にな
ります。

匿名(横浜) 21世紀はウイルス
との闘いか。免疫を強化しましょう。

米持 汎(秦野) 「すみれの観察」
は今春、九州と東北を計画しました
が、コロナで中止。来春に再度チャ
レンジの予定。この春から夏にかけ
近くの金目川散策で鳥の観察を続け
写真を撮っています。

投稿
=テーマ=
「コロナ」
または
自由

物理学者ニールス・ボーア
に魅せられる

佐藤 榮一

ニールス・ボーア。デンマークの
理論物理学者でウラン235が核分
裂することを示唆したこと
や、原子などのミクロの領域
では量子力学が適用される
ことを主張した。

彼は高校物理の教科書に
も登場しているが、アイン
シュタインの名声に隠れて
か、量子力学が従来の物理学
と全く異なり、複雑難解であ
るからか高い業績にしては
知名度はそれ程高くない。
アインシュタインの「量子力学へ
の懐疑」に対して、彼は終始理解を
求めていたが、いまではその理論が
AI、超伝導、量子コンピューター
などに広く実用化されている。彼は



ニールス・ヘンリック・
ダヴィド・ボーア
(1885年10月7日-
1962年11月18日)は、
デンマークの理論物
理学者。量子論の育
での親として、前期
量子論の展開を指
導、量子力学の確立
に大いに貢献した。
王立協会外国人会員。

科学・技術の成果は世界の共通財産
で、公開を主張した。協力は発展へ
の力だと後にノーベル賞を受賞した
若手研究者達と頻繁に議論し、量子
力学の体系を築くのに貢献した。

彼はナチスの危険から英国へ亡
命、その際に他の亡命者の手助けも
した。英国チームとしてマンハッタ
ン計画に参加するが、以前からウラ
ン濃縮は技術的に困難で、原爆完成
は不可能とみていた。
しかし米国に渡り、製造現場で既
に原爆が完成間近になっている現実
に驚き、すぐにルーズベルト大統領、

お悔み申し上げます

5月11日以降、事務局で把握
した亡くなられた会員です。謹
んでご冥福をお祈り申し上げます。
す。()内は享年。

- 落合 直之 様 (85)
- 川村 キサ 様 (91)
- 加藤 仁恵 様 (85)
- 吉田 紀夫 様 (90)
- 平本 光治 様 (87)
- 川添 国義 様 (77)
- 駒沢 一三 様 (82)
- 鈴木 三男 様 (92)
- 小松 克正 様 ()
- 倉科 隆充 様 (96)
- 西原 明夫 様 (69)
- 荒井八重子 様 (94)

チャーチル首相に原爆の危険性と技
術の公開、国際管理に委ねるよう要
請した。だがそれは実現せず、広島、
長崎の悲劇を招く。

戦後、国際連合へ書簡を送るなど
平和活動や、自己の考えを哲学に発
展させた。「戦争を早期に終結する
には原爆投下もやむなし」とする科
学者、知識人もいたが、平和を希求
し、科学だけは政治に従属させては
ならないとするボーアの人間性に魅
せられた。

役にたった洋裁

奥津 弘久

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う「緊急事態宣言」は解除になりましたが、まだ油断は出来ないの、外出は控えています。

外出するとすれば、食料の買い物、ゴルフとゴルフ練習位で、家に閉じこもっています。



20年前に女房から教えてもらった洋裁で、マスク不足もあって、マスク作りに精を出しています。教えてもらったことが役にたつとは思っていませんでした。

絵手紙



奥津弘久さんの作品



宮澤恭子さんの作品

☆

スキーの思い出

榎本 勝雄

県職労と云われたころの話ですが、蔵王のスキーに何年も行ったことを思い出しました。

その後、こだま会の役員の方々の計画で、北海道の富良野スキー場に行くようになり、皆さんと楽しく食事したり、7、8人でタクシーに乗り、カラオケで大盛り上がりしたこともあります。



今より少し若い頃の榎本さん

神奈川県各市町村にスキー協会があり、職場に茅ヶ崎から来ている指導員が居たので、私は藤沢ですが、茅ヶ崎スキー協会に入会しました。そこで何年も、皆と楽しくいろいろなスキー場に行って滑

り、何年かして指導員の資格を取りました。会長を12年間務めました。神奈川県スキー指導員会の行事に出たり、団体の運営に力を入れてきました。神奈川県スキー指導員会の会長を4年務めました。

その後、全日本スキー連盟、日本スキー指導者協会の副会長になり、現在は名誉役員です。

カナダのウイスラースキー場やオーストリアのヒンタートックススキー場、スイスのスキー場に10何年も行きました。

人の命

村崎 亮一

知事室・財政課に勤務の職員が、長時間労働や上司のパワハラを苦に自死し、遺族が県に損害賠償請求訴訟を提起した。

知事室や財政課と言えば、エリートコースの筈だ。遺族には耐えられないであろう。同情します。

50年以上前、本庁土木部にZというデカ面上司がいた。私は決裁書類をことごとく撥ねつけられるというイジメを受けた。ゴマスリのため、高級外国製タバコを手渡しする職員も目にした。時に、「エッ！あの

手づくり文化祭について

神奈川県自治労連退職者会主催

新型コロナウイルス禍のため、残念ながら今年の「文化祭」は中止になりました。



人が！」ということに遭遇する。彼は、それでも人事委員会の長に昇った後、平成6年、68歳で死亡し、葬儀の通知文に接した。私の祈りから25年も経っていたとは、私の神も道草が好きなのだ。

40年以上前、ある県税事務所でデカ面課長に遭遇した。人を能なしだと小バカにした言で茶化し、ヘラヘラと笑う癖があった。自分は能力があると思いがついていた。書類の書き方が悪いとケチを付け、脚を引張り始めた。

昨年、彼の訃報を知った。92歳だった。私は80歳手前。この2月、心筋梗塞でブツ倒れ、救急搬送・入院後、自宅で療養中である。人命は、はかないものだ。終わり。

会員の広場



◆公の後援不承認などがあちこちで

宮澤恭子
(茅ヶ崎市)

新型コロナウイルスの感染予防で様々なイベントはもちろん、貸会場が閉止で実質的に足止め状態。アベ首相の顔がヒトラーに似てきた。なんだかこの動きが危険な動きにつながらないか危惧します。

公の後援不承認などがあちこちで起き「表現の自由」が侵されている。「たいしたことじゃない」と思っていることがどんどん積み重なって行くと、何か違う方向に行くという、そういう時代を経験してきました。「あの目を刻むマイク」という武井照子NHKのアナウンサーの言葉を新聞コラムで読んで、気になりました。時間を持って余し気味、気分転換に様々な会報や新聞のクイズに挑戦。賞品が当たることを期待して。

◆その人らしく生きる

湯川 勉 (二宮町)

『会報』の計報欄に、同年代の方々…。私も基礎疾患をいくつか持っている。それ



に加えて、物忘れ、忘れ物、人の名前が思い出せないなどなど、認知症のきざしが出てきた。人ごとではない。認知症研究の第一人者・長谷川和夫氏が、自身の認知症を公表している。高齢者になっても、その人らしく生きることが私は願っている。

石田啓子 (横浜市)

自粛生活で数独やクロスワードパズルなど、頭の体操ばかり。しかし、結果が伴わないことが悲しい。昔、ユニセフのチャリティーで買ったジグソーパズル「ノイシュヴァンシュタイン城」を完成させたが、いつになったら海外旅行ができるやら…。

クロスワードパズルで頭の体操

◆応募要領◆

- ①ヒント：2重枠に入った文字をAからEの順に並べてできる文字は？
- ②回答送付先：231-8588横浜市中区日本大通1 県庁舎地下1階神奈川県職労連退職者こだま会パズル係
- ③郵便葉書に答、住所、郵便番号、氏名を記入し、10月1日までに上記②へお送りください。メールも可。
- ④賞品：正解者から抽選で5人の方にクオカード進呈します。
- ⑤発表：次号(11月15日号)

答

	A	B	C	D	E
1	2	3	4		
5			6	7	
		8	9		
10			11	12	
		13			14
15					

- ヨコのカギ
 - 1 「○○○○○」岩にしみ入る蟬の声(芭蕉)
 - 2 自分の能力や価値を確信すること。「○○○満々」
 - 3 漫才で○○と突っ込み
 - 4 夏の京野菜のひとつ。「加茂○○」
 - 5 ○○転変
 - 6 栗などの実を包む、とげの密集した外皮
 - 7 ミカン科の果樹およびその果実の総称。
 - 8 子守唄
- タテのカギ
 - 1 スズメ科の鳥。頭頂・喉などは黒、背は緑黄。頬と胸腹は白の小鳥
 - 2 鎌倉・葉山間に位置する市。別荘地などとしても発展
 - 3 材木を削って滑らかにする道具
 - 4 世情に通じず人情の機微をわきまえないこと
 - 5 めったにないこと。「○○な出来事」
 - 6 水で冷却すること⇕空冷
 - 7 鉄砲・銃砲・銃のこと
 - 8 父・母の姉妹
 - 9 コロナウイルスを避けるため

前回の答「コロモガエ」

モ	ガ	ミ	ガ	ワ	
ン		ツ	チ	イ	口
コ	ウ	カ	ン		ウ
		ノ		コ	ト
モ	ハ	ン		ツ	ヤ
カ	ナ		エ	ト	ク

●当選おめでとう●

抽選で次の5人の方にクオカードを進呈。石田啓子／植木政光／木村健夫／馬淵優／三井光子 (敬称略)

係から：回答はがきの余白に、本紙についての感想や要望、身近な話題などひとことを。「会員の広場」欄などに掲載させていただく場合があります。匿名の場合は「匿名希望」とご記入ください。

回答はEメールでもOK kodama@kodamakai.sakura.ne.jp こだま会報パズル係
FAXでもOK 045 (212) 3178 こだま会報パズル係

こだま俳壇(7月)

桑の実や古老伝える絹の道

本山 文字

浅草の路地の明るし七変化

田中 一男

うどん打つ腕逞し夏のれん

鳥海 敏雄

朝顔に水やる女兒や裏通り

瀧澤 正行

朝顔やいくつ咲いたと子らの声

角田 英昭

開け放す部屋の仕切りに夏暖簾

島田多嘉子

朝顔や駄菓子屋つひに店じまい

松尾佐知子

夏暖簾媼の杖がもちあげる

中村 桂子

余生なり紺の朝顔風まかせ

小川 水草

半夏雨歳時記を繰る指の音

友井 眞言

夏のれんとろろ定食すすりおり

木村 武子

開墾し小玉すいかを植えにけり

常世田芳子

押し上げてそそる蕎麦の香夏のれん

後藤 貞夫

この花の愛素直なり捻花

白石保次郎

風清し早苗が満つる田んぼかな

柳瀬 節子

朝顔やオールバックと坊主刈り

高橋 和江

朝顔や普段の暮らし戻りつつ

講師・太田 土男

「健康教室」――秋にスタート

講師の工藤テル子さんからメッセージ

今春スタートの予定だったこだま会の「健康教室」は、新型コロナウイルス禍で、会場の確保が困難になり延期。残念な思いをしました。しかし今秋、ようやく開会。講師の工藤テル子さん(看護師)から、すてきなメッセージが届きました。

筋肉はうそをつかない

みなさん、こんにちは。「コロナ」自粛のなか、いかがお過ごしですか? 「コロナ肥り」をしていますせんか? 今後、2波、3波も心配ですね。

安全に安心して生活ができるようになるのは、いつでしょうか。ここにいるのかわからない「コロナ」に對して、いまでできることは、他人に接する時はマスク(アペノマスクは効果なし)、そして手洗いを小まめにするこトですよ。

現在、私は76歳。「コロナ」以前は、きくち体操、童謡を歌い、テニスを樂しむなど、体を動かしていました。が、それができなくなり、家でごろごろし、動かない日々が続きました。

そのことを娘に話したら、「いまの生活が、そのまま体にているよ。筋肉はうそをつかないから、このままいくと、歩けなくなるよ」と。娘は理学療法士なので、そこは厳しいです。

そして言われた

ことは、

- ① 階段の昇・降、
② かかと落とし、
③ スクワット、
④ 歩くこと。

私はさっそく運動を始めました。

毎日3000歩以上歩き、①は100段、②は100

こだま会の「健康教室」

と き●10月9日(金)13時30分~15時30分

ところ●横浜市開港記念会館2階7号室(県庁本庁舎ナナメ前)

テーマ●「高齢期の健康な過ごし方」

アドバイザー●工藤テル子氏

(こだま会会員・看護師歴50年以上)

内容●「きくち体操」と交流(13時30分~15時30分)

参加費●500円

申込先●こだま会事務局 045(212)3179(毎週火曜日10時~16時)

回、③も100回と続けています。3週間くらい続けていると、体の動きがよくなり、本場に「筋肉はうそをつかない」ことを実感しています。その他、私が気をつけていることは「熱中症」です。外出時は水を持ち歩き、小まめに飲むこと。口の運動も大切です。「舌」を動かすこと、よく話をする事、「パタカラ」と声に出し、毎日1分以上行うこと等、高齢者になると、失うのは早く、元に戻すことは大変です。毎日続けることが大切です。私も頑張ります。「コロナ」が収束し、日常生活が1日も早く戻るといいですね。

(工藤テル子)



いま「きくち体操」がブーム。体操発案者の菊池和子さんの本